

平成29年度2月号 [2月15日(発行)]



# 東風だより

川口市立東中学校  
川口市東本郷2-20-47番地  
TEL 048-281-4065  
特別支援学級 285-2423  
さわやか相談室 281-4627  
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

## 雪の日の朝

校長 安部 正幸

今年の冬は、これまでにない寒い冬で立春を過ぎたというのに、冬の出口が見えてこない状況です。一説によれば、これも地球温暖化の影響とのこと。全く、反対の現象に思えますが、どこかで関連しているのでしょうか。そのため、日本海側では連日大雪となり、東京地方でも、1月22日から23日にかけて20cmを超える積雪を記録しました。

1月23日の朝、私は安全のため自家用車での通勤をやめて、路線バスを利用して学校へ向かいました。普段より相当早めに家を出たのですが、バスの遅延と道路の混雑で学校へ着いたのは普段と変わらない時間でした。東中は皆さんご存じの通り、正門に向かう場合どちらから来ても最後は上り坂となります。私は、南側の坂から学校に向かいました。昔、雪の日にこの坂を車で登れなかったことを思い出しました。そして、坂を下から見上げてみると、三歳橋のあたりから学校に向かってしっかりと除雪されていることに気づきました。人一人が歩ける程度の幅でしたが、明らかに人手によって雪が取り除かれています。大通りから一本入った道ですから、雪道を歩いて登ることを覚悟していただけない、その除雪された道筋を登り、なんと楽なのだろうと思いながら、正門に向かって行きました。そして、正門が見えてくると、そこには早く登校してきた生徒たちに加えて先生方、校務員さんが大勢で雪かきをしている姿がありました。すでに正門前の雪はほとんど取り除かれていました。今、登ってきた坂道を振り返って見ながら、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして、すでに反対側の坂道の除雪もほぼ完了していました。その後、平常通りに登校してきた生徒たちが、その除雪された坂道を登って正門の中に入っていました。

最近、自分の思い通りにならないことがあると、不平を言ったりクレームをつけたりする人が増えていると言われていています。ここのところ良く見かけるようになった「これはイメージです」という写真の下にある小さな文字は、まさにこれらの人への対応策なのだと思います。それでは、私たちは逆に思い通りに事が運んだとき、その陰で尽力した人たちのことをどれだけ考えることができるのでしょうか。今回、除雪された坂道を登りながら、誰かが雪かきをしてくれたということには気づきますが、その先で雪かきをしていていた生徒の姿を見なければ、これほどの感謝の気持ちが生まれたか、自分でも正直不安になります。すでに雪かきが終わってしまい、そこに雪かきをしている生徒の姿がなかったとしても、雪が取り除かれている一本の道筋を見ながら状況を判断して、その事に感謝できる人になりたいものだった朝でした。